



はじめに

ルネサス エレクトロニクス RZ/T2M

e2studio 評価版

2023年09月版 イー・フォース株式会社

1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書では、評価版パッケージの制限事項、インストール手順について説明いたします。

制限事項

本評価版は、サンプルフォルダに準備されている評価ボード上での試用を対象としています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。

そのため、本評価版は製品版とは異なり、カーネルや、TCP/IP プロトコルスタックのソースコードが含まれないほか、幾つか機能制限がなされています。

- RTOS の ID 数の制限

- ・タスクの個数：12（製品版では 255）
- ・その他のオブジェクト個数：8（製品版では 999）

※. 参考情報：IDの詳細については、 μ C3/Standardユーザーズガイド「3.3.1 オブジェクトのID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

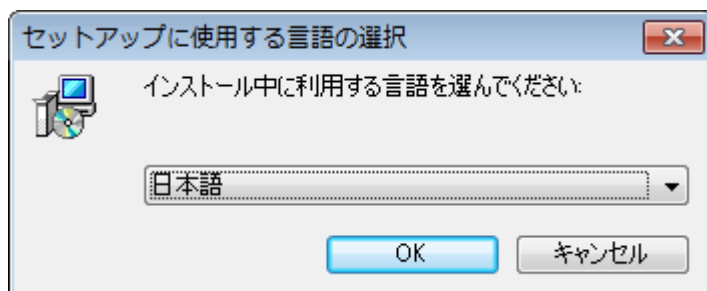
本評価版を使用するにはルネサスエレクトロニクス株式会社の開発環境(e2studio) が別途必要です。

開発環境については、評価版パッケージのインストール後、「¥uC3Eva¥Document」内のチュートリアルガイド(TutorialGuide_RZT2M_CortexR52_e2studio.pdf)を参考に準備をお願いいたします。

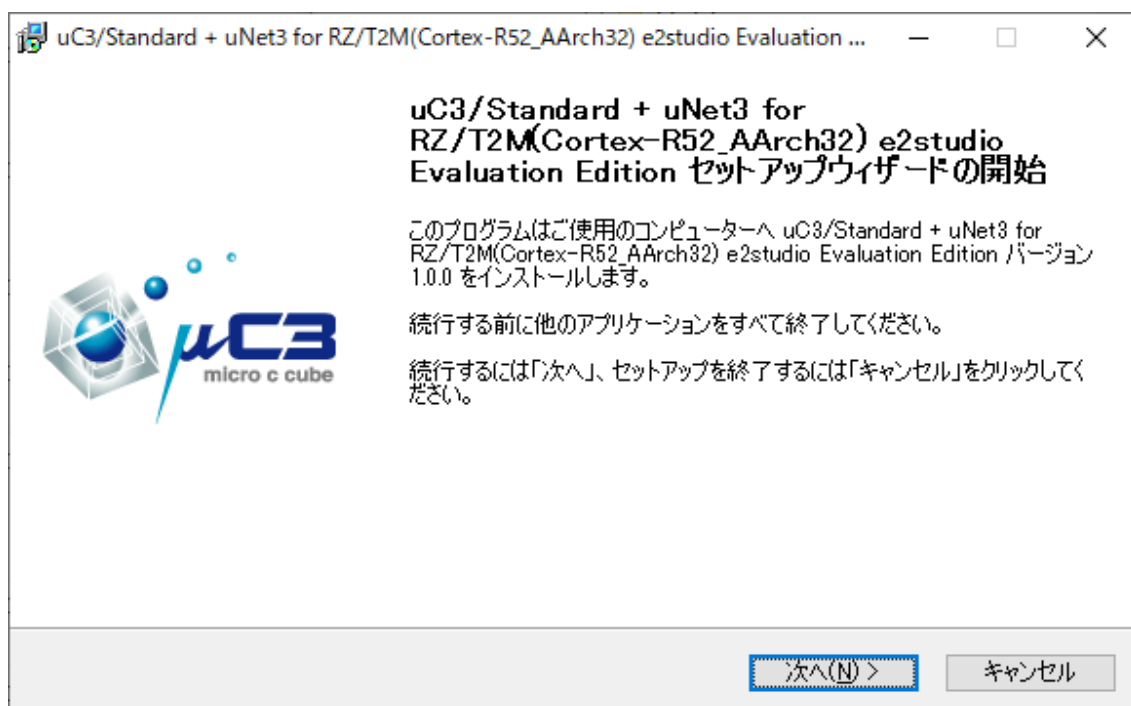
2. インストール

uC3StdEva_uNet3_RZT2M_AArch32_e2studio_Rxxx.exeを実行し画面に従いプログラムをインストールします。

最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。

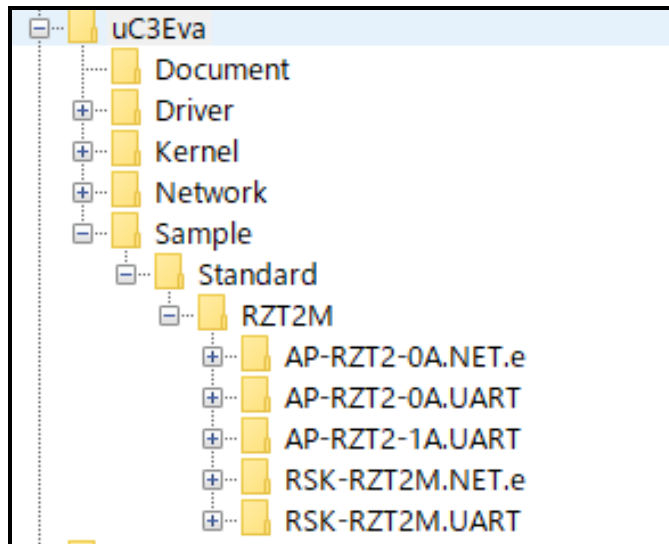


下記メッセージでOKをクリックし、その後画面のメッセージに従いインストールを実施します。



フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



サンプルプログラムの実行

評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。

サンプルプログラムの実行方法は、「¥uC3Eva¥Document」内のチュートリアルガイド (TutorialGuide_RZT2M_CortexR52_e2studio.pdf)を参考にして下さい。

サンプルプログラム

評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。

サンプルプログラムは、「¥uC3Eva¥Sample¥Standard」内にあります。